

原発事故のつけを子どもたちにも労働者に負わせるな

と き：7月23日（土）10:00～12:00

ところ：埼玉社会文化会館3階会議室（浦和駅西口徒歩10分）裏面案内図

内 容：講演「原発事故のつけを子ども・労働者に負わせるな」

講師 ^{ごみ}五味 ^{はるお}明大 さん

元大倉電気労働組合委員長
全国労働安全衛生研究会代表

参加費：200円

主催：埼玉の子どもたちを放射線被曝から守る会

共催：社会民主党埼玉県連合女性部

埼玉社民ユース

福島原発中央制御室で東電社員が累積被曝量250ミリシーベルトを超えた。講師の五味さんは、この制御室の機械類を作る会社に勤務し、機械類のメンテナンスや点検で担当者を出張させるに当って、技術職として労働組合の委員長として放射能汚染問題や労働安全衛生法などについて極め、働く人の立場で闘い続けてきた。そして、大人より放射線の影響を多く受けることもへの配慮は？

原発事故における放射線被曝について、急性と晩発性の方向から健康破壊と命の危機を告発します。

